# 学修について

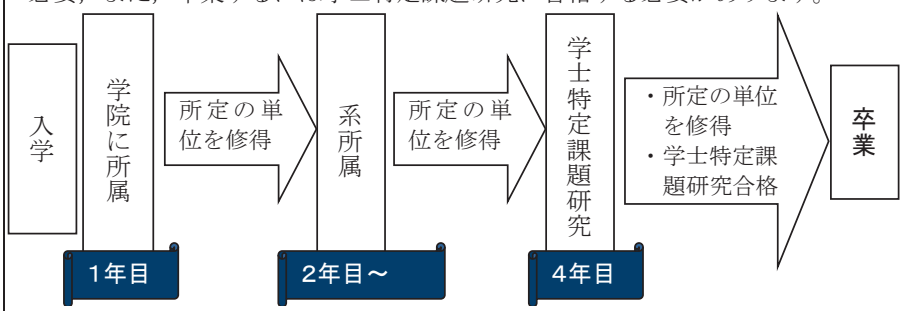
## ■学士課程の履修及び授業等

担当部署
・教務課

教務課
Taki Plaza １階
教務課(すずかけ台)
Ｊ１棟１階

### ●学士課程の流れ

系所属・学士特定課題研究・卒業の資格を得るには，所定の単位を修得する必要，また，卒業するには学士特定課題研究に合格する必要があります。




**Attention!!**

卒業までの必修科目・単位数等は，各系で異なります。
**→学修案内（入学年度版のもの）で標準学修課程を確認**して下さい。

### ●授業日程，時間割表

授業は，行事等のため他の曜日と振替えて行う場合や，全学で休みになる場合があります。東工大 HP に掲載の授業日程で確認して下さい。授業時間は，１時限あたり５０分です。

時間割表は，第１クォーター及び第３クォーター始めに HP で公開します。

| 時限 Period | 時間 Time |
|---|---|
| 1 | 8:50 – 9:40 - 10:30 |
| 2 | |
| 3 | 10:40 – 11:30 - 12:20 |
| 4 | |
| 5 | 14:20 – 15:10 - 16:00 |
| 6 | 昼開講科目 12:35 – 13:25 - 14:15 |
| 7 | 16:15 - 17:05 - 17:55 |
| 8 | |
| 9 | 18:05 - 18:55 - 19:45 |
| 10 | |

なお，新型コロナウイルス感染症の拡大状況により，タイムテーブルが変更になる可能性があります。

【時間割表】

https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/undergraduate_timetables.html

### ●履修申告，授業科目，単位

履修しようとする授業科目を第１クォーターと第３クォーターの履修申告期間内に教務 Web システム（P２０参照）にて登録（履修申告）して下さい。また，履修申告後所定の期間内に申告の追加・取消を行うことができます（追加・取消期間は時間割表に掲載）。

なお，履修する科目が全く無い場合も，履修する科目が全く無い旨を申告する必要があります。

**Attention!!**

申告作業は慎重に行いましょう。申告漏れや科目間違いなどの申告間違いをしてしまい，**正しく申告されなかった科目は成績がつかない可能性や０点になる可能性があります。**

## 学修について

### Q&A　よくある質問

**≪他の学院・系の授業は履修できるの？≫**

履修可能ですが，履修が制限される科目もあります。履修したい場合は，事前に授業担当教員に履修可能かどうか確認して下さい。

**≪履修申告期間終了後に，科目の追加又は取消はできるの？≫**

所定の期間内に限り教務 Web システムから追加申告・申告取消を行うことができます。時間割表で所定の期間及び申請方法を確認し、手続きを行って下さい。

**≪忌引きなど，公欠の場合はどうすればいいの？≫**

公欠届・公欠事由に応じた書類を教務課学務グループにご提出ください。公欠に該当する事由と各事由に応じた書類は次の通りです。

感染症に罹患した場合：医療機関発行の診断書又は治癒証明書

忌引き：会葬礼状その他事実が確認できる書類

裁判員制度によって選任された場合：裁判所又は検察審査会事務局からの通知書その他事実が確認できる書類

災害等による被災：罹患証明書，公的機関等の証明書その他事実が確認できる書類

※最新情報及び様式は，
https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificates/submitting/forms_current.html でご確認下さい。

**≪新型コロナウイルス感染対応フローはどこで確認すればいいの？≫**

新型コロナウイルス感染対応フローについては以下のHPから確認できます。
https://www.titech.ac.jp/enrolled/health/coronavirus.html

**●授業**

他の曜日と振替えて行う場合や，全学で休みになる場合があります。

**休講**となる場合

・掲示：学内掲示板（大岡山：ウッドデッキ沿い，すずかけ台：すずかけ通り広場）に掲示します。
・教務 Web システム：休講情報画面で，休講情報が確認できます。
・OCW－i からの休講お知らせメール：申告登録した科目のみポータル Web メール（P２１参照）に配信されます。

台風等による交通機関の運行停止等により，全学で休みとなった場合は，東工大HPや教務Webシステム等でお知らせします。

**●クォーター制**

履修計画を柔軟に組むことができ，通常の在学期間でも留学やインターンシップ等の活動を柔軟にしやすくするため，また学修効果を高めるため，クォーター制（学期を前半及び後半に分けたクォーター単位）で学修をします。毎年度，概ね以下のスケジュールとなります。

≪前学期≫　　第１Q：４月～６月上旬　　第２Q：６月下旬～８月上旬
≪後学期≫　　第３Q：１０月～１２月上旬　第４Q：１２月～２月上旬

特に学士３年目の第２Q には必修科目を設けていないので，夏休みと合わせて留学等の活動ができます。

# 学修について

**●制限のある授業科目**

科目によっては，履修人数の制限を行うことがあります。また，修得すべき科目を履修していない場合には，履修を認めない科目もあります。履修の条件はシラバス等に記載されています。

**●ナンバリング**

授業科目の学問分野や難易度，授業科目の関連・順序等を明示し，教育課程の体系性をわかりやすくするために，すべての科目に「科目コード」を付けており，この仕組みをナンバリングといいます。

**●科目コード**

履修申告する際の参考としてください。

**例：ABC.D123.E**

構成

①ABC：開講する学院・系の略称。

②D：分野コード。①の系内での学修分野を示します。

③１２３：レベルコード。学修内容レベルを百の位で示しています。

④E:必修等コード。①の系における必修等を示します。(「R」は必修です。)

**●身に付ける力**

社会で活躍するためには，専門分野の知識や技術だけでなく，例えば，主体的に行動できる力等の様々な能力が必要とされます。本学では，知識のインプットやアウトプット（演習／実験），アクティブラーニング等による科目の履修を通じて，５つの力を身に付けることができます。各科目の５つの力は，シラバスで確認できます。

| | 東工大の学生が身につける５つの力 | |
|---|---|---|
| 専門（研究）に関する項目 | 専門力 | 関心を向けた専門分野の研究・技術開発に必要な知見・学力 |
| 社会で必要とされる項目 | 教養力 | 自立した一人の人間としての意識や知識，また，外国人を含む他者と意思疎通を図るために必要な知識や語学力 |
| | コミュニケーション力 | 自らの知見・経験などを踏まえて，他者との意思疎通や合意形成するために必要な力 |
| 物事に取り組む際に必要とされる項目 | 展開力（探求力又は設定力） | あるべき姿と現実とのギャップや「なぜ，そのようになるのか」という疑問等に対して，これを解決するために必要な道筋を立てられる力 |
| | 展開力（実践力又は解決力） | 自らの知見，経験，考えなどの「論理や理念」をもとに，①課題や目標に向かって行動に移す力，②答えのない問題や実社会における問題などの解決に取り組む力，③新たな知見を創造・発信する力 |

# 学修について

## ●履修申告の上限単位数（キャップ制）

一単位は，授業時間外も含め４５時間分の学修をもって付与されますので，授業の事前事後に学修することが求められます。そこで，授業時間外に学修する時間を確保して，内容を身に付けるため，一年間に履修申告できる単位数を以下の通り制限しています。

**学士課程：４８単位/年**

（前年度の年度 GPA≧３．０の場合，５６単位/年。又，前年度の年度 GPA が３．０未満で当該年度前学期の学期 GPA≧３．０の場合，５２単位/年）

## ●期末試験（及び中間試験）

期末試験は，授業中及び授業期間終了後にも行われますが，レポート提出のみの科目もあります。中間試験は科目によって行う場合と行わない場合があります。試験の際は**学生証を必ず持参**して下さい。

なお，補講・期末試験期間の時間割は，東工大 HP 内「補講・期末試験時間割表」のページにて掲載します。

以下のことは絶対行わないで下さい。懲戒処分の対象となります。

不正行為：カンニングペーパー，携帯電話，机上等へ予め記入してあるものを見て解答した場合・しようとした場合，それに類する準備行為 等

不正レポート：他人のレポートのコピー，出典を明記しない引用，インターネット上の記述をそのままコピー 等

※不正を行うと，不正を行った科目のみならず，そのクォーターすべての科目の成績が０点になることを含め，停学等の厳しい処分があります。

## ●達成度評価

「何をどれだけ学んだか」，学修内容は学年ではなく学修の進行度で決まります。学院から系に所属する際，学士特定課題研究を開始する際（研究室に配属される際），卒業の際に達成度を確認します。

## ●成績

申告した授業科目は，期末試験，レポート，授業への出席等，様々な要素をもとに評価されます。評価は点数（０～１００点）もしくは合格・不合格で行われ，点数の場合は６０点以上を合格とし，単位が与えられます。一度合格した授業科目については，その単位を取り消すことも，再び履修することもできません。また，出席するだけで加点・合格点が付くこともありません。

学業成績書，成績証明書が発行される前に，第１Ｑの成績は６月下旬，第２Ｑの成績は９月上旬，第３Ｑの成績は１２月中旬，第４Ｑの成績は３月上旬に教務 Web システム上で閲覧できます。教務 Web システムにおける成績公開日は教務 Web システム上でお知らせします。（証明書自動発行

機についてはＰ４１参照。）なお，履修申告をしていない場合，成績はつきません。成績に疑問がある場合，所定の「確認」を行い，その結果に不服があれば「不服申立て」を行うことができます。「確認」の受付は，成績公開後 10 日以内，卒業・修了判定等に関係する場合は 3 日以内としており，「不服申立」の受付は，確認の結果受領から 3 日以内を原則としています。

### ●学修ポートフォリオ

東工大生用にオリジナルに設計した学修履歴を記載するツールです。（東工大ポータルよりログインできます。）学修過程や学修成果を収集し，記録する機能があります。使い方次第で，大学生活や自身の将来・就職活動へ有効活用できます。また，アカデミック・アドバイザーが学修ポートフォリオを閲覧し，学修支援を行います。自分を客観的に把握・自己省察し，大学の学修に役立て，将来の糧としましょう。

### ●アカデミック・アドバイザー

教員がアカデミック・アドバイザーとして，学生一人一人を担当し，授業科目の履修状況や成績等の学修状況を考慮しながら，修学及び進路に関する相談又は指導等のきめ細やかな支援を行います。学修ポートフォリオに記録した内容等をもとに，必ず面談を行います。

### ●ＧＰＡ

GPA とは Grade Point Average の略で，本学では，学修の状況及び成果の客観的評価を示す指標として，キャップの引き上げ指標（Ｐ１５参照）や，修学指導における指標として用いられます。
また本学では，以下の式によって算出し，通算 GPA など複数の表示がされます。なお，通算 GPA は成績証明書に記載されます。

・GPA＝｛[履修申告科目の GP×単位数]の総和｝／｛履修申告科目の単位数の総和｝　※ 表示は有効数字３桁（小数点以下第２位まで）
・GP＝（学修の評価－５５）／１０　※ 不合格科目は GP＝０
　　４．５～０．５（０．１刻み）　　※ 学修の評価≧６０点

### ●ＧＰＴ

GPT とは，本学独自の仕組みで，修得した学修量を示す指標として，早期卒業や飛び入学における指標として用いられます。教務 Web システムで確認できます。

・GPT＝｛[履修申告科目の GP×単位数]の総和｝／　１１０
　※ 表示は有効数字３桁（小数点以下第２位まで）
・GP＝（履修の評価－５５）／１０　※ 不合格科目はＧＰ＝０
　４．５～０．５（０．１刻み）
　※ 学修の評価≧６０点。「合格」の場合は GP=２．５

# 学修について

**●研究プロジェクト**

学士課程３年目に学修する必修科目で，複数の研究室で研究体験を行う科目です。異なるキャンパス，もしくは異なる分野から研究室を選択することになります。学士特定課題研究を開始するための一要件です。

**●学士特定課題研究**

標準的には４年目４月から行う必修科目（２Q 通しで学修）で，指導教員のもとテーマを決めて研究を行います。４年目９月から開始することもできます。学士課程に３年以上在学し，所定の授業科目及び単位を含め，合計１１０単位以上を修得すれば，指導教員を選んで学士特定課題研究を申請することができます。満３年で早期卒業を希望する学生は，要件を満たせば，３年目後学期から開始することができます。

**●学士特定課題プロジェクト**

学士特定課題研究を終えて，卒業までに半年以上期間をおく学生が原則受講する科目です。「学士特定課題研究」の課題を更に掘り下げたり，あるいは別の課題に取り組んでみたり，修士課程での研究課題の準備をしたりします。

**●早期卒業・飛び入学**

早期卒業とは，大学を３年～４年未満で卒業することを指し，在学期間２年６ヶ月又は３年となる学期末までに，

① GPT３．５以上を得ている

② 学士特定課題研究の申請資格の要件を満たしている

場合に，早期卒業適格者の認定を受けることができます。認定後，学士特定課題研究を翌学期から開始することができ，所定の要件を満たすことにより早期卒業ができます。卒業時には，本学の学士の学位を授与されます。

一方，飛び入学とは，大学に３年以上在学したものが大学を卒業せず，大学院に進学することを指し，在学期間２年となる学期末までに，

① GPT３．０以上を得ている

② ９０単位以上を得ている

場合に志願することができます。（大学院入学までに所定の単位を修得する必要があります。）退学となるため，本学の学士の学位は授与されません。

**●卒業**

卒業に必要な所定の単位を修得し，学士特定課題研究に合格し，４年間の修業（早期卒業を除く）により卒業の要件を満たすことになります。卒業の時期は一般的には３月ですが，場合によっては９月となることもあります。

# 学修について

## ●柔軟な学修−大学院への進学を見据えて−

### １．大学院科目の先取り

学士特定課題研究の履修を許可された学生※は，学士課程在学中に，文系教養科目，キャリア科目及び講究科目を除く４００番台の授業科目を最大１０単位（系による）まで履修することができます。ただし，当該科目に合格した場合であっても，学士課程の単位にはなりません。大学院に入学後，当該授業科目が開講されている場合に履修申告等の所定の手続きを行うことで，大学院課程の単位として認められます。

※B2D 特別選抜に選ばれた学生（B2D 学生）は，学士課程 2 年次から研究を開始できます。B2D 特別選抜への応募方法、選抜プロセス，学修課程等の詳細については，以下のＨＰから確認できます。

https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificate_current/b2d.html

### ２．広域学修プログラム

大学院に進学後は，自分が選択する系・コース以外の分野も体系的に学修することができます（申請制）。プログラム修了時には，学位と同時に修了証書が授与されます。「コース」とは，大学院教育プログラムを指します。

### ２－１．副専門学修

（大学院進学後に申請しますが，学士課程のうちから学修できます。）

全てのコースがその分野の中心・エッセンスとなる内容を体系的（２００番台～５００番台科目）に用意しますので，自分の専門以外の内容を基礎から学修することができます。副専門学修プログラムを提供するコースが定める１６単位以上の所定の要件を満たせば，修了します。なお，２００番台及び３００番台科目であれば，学士課程時にも学修でき，学士の卒業単位にも含むことができます。

**２−２. 特別専門学修**（大学院進学後に申請し，学修します。）

複数のコースが集まり，横断的に融合して特別な体系的教育プログラムを構成します（４００番台～６００番台）。特別専門学修プログラムの修了には，自身が選択したコースが定める標準学修課程に含まれていない科目から8単位以上の所定の要件を満たせば，修了します。

## ●教員に連絡をとりたい

授業担当教員（常勤教員のみ），系主任については，教務課に備え付けの居室一覧で調べることができます。また，以下の HP でも確認ができます。

東工大 HP→ （クイックリンク）→ 研究者を探す／研究業績を探す

https://www.titech.ac.jp/find_researchers/

本学の全教員については，東工大 HP から「研究者検索システム STAR Search」を選択・検索し，教員プロフィール画面でメールアドレスや研究室の電話番号を調べることができます（掲載していない場合あり。）。教員プロフィール画面は，OCW のページからもリンクしています。また，東工大 HP の「Google カスタム検索」，シラバスもあわせてご活用ください。

なお，非常勤講師は上記「研究者検索システム STAR Search」からは検索

【教員検索】

できません。授業時のみの来校となるので，連絡を取りたい場合は注意して下さい。授業外でどうしても連絡を取りたい場合は，教務担当窓口で相談して下さい。

### ●掲示板

大岡山には本館前のウッドデッキ沿いに，すずかけ台にはすずかけ通り広場に全学の掲示板を設置しています。また，東工大 HP 内の学務部掲示物情報のページ（学内限定）にも，同様のものを掲載しています。各部署からの重要な情報をはじめ，授業に関する情報（休講情報，集中講義の日程や試験日程等）や呼び出し等の様々な内容のものが掲示されていますので，1 日 1 回は必ず確認して下さい。なお，各系にも専用の掲示板があります。あわせて，東工大ポータルの Web メール（P 21 参照）に重要な連絡が届いていないか確認をする習慣もつけましょう。

学務部掲示物情報　https://www.titech.ac.jp/enrolled/board/index.html

Attention!!

講義に臨むにあたってのマナーを常に心がけて下さい。講義中の**スマートフォンの使用，居眠り，私語など，教員に対して失礼にあたる行為，他の学生の迷惑になる行為は慎みましょう。**

**学内無線ＬＡＮを接続したスマートフォンのゲーム，YouTube などの講義中の閲覧は，講義の妨げになっております。**